



日曜日 二月五日 昭和十一年十二月六日 第一頁 第三三號 郵便物認可

### 業界稀有の大落盤

#### 警炭の咽喉坑道に

無充填が原因らしい延長八百尺 復舊までに約三ヶ月を要する 損害少くとも廿萬圓か

警炭炭礦では去る十一月以来、級及び高坂坑内に於ける連掘主要坑道に延長八百尺に亘る大落盤を生じ之れが取分け修理作業の爲め出炭を半減し晝夜兼行を以て復舊に盡してゐるが常磐炭礦界に會てない大落盤と云はれる災害は容易に人力の支ふる所とならず最近遂に鐵道省に納炭猶豫の陳情をなすに至つた落盤の箇所は廣畑、高坂、綴坑の咽喉部で斯る重要坑道に迂闊な落盤を招來するに至つた原因は坑道兩側炭層の無充填によるものと唱ひられ同位置一帯の緩みは去る八月頃からのもので急を知ると同時に非常な狼狽に善後策を講じたが廣畑坑に亘る動搖は日ならずして各所に大小の落盤を起し遂に坑道を滅茶／＼にされたもので其の爲め排水管を折損されて坑内下部の排水をも不能に陥り需要盛期に於ける書入時の此の受難は本期間の純益に大打撃であるに相違なく落盤坑道の復舊も昨今では見込みなきものとあきらめ右連掘坑道に連絡する住吉坑道の中段から落盤坑下位に至る約二百間の新坑を掘進し之れによつて復舊を急いでゐるが同坑の完

### 好間村會の名で

#### 叶多組頭に辞職勧告

自力更生の申合を破つたこと 昨日満場一致で決議

好間村では昨二十四日午前十一時村會を開き、任期満了による収入役は鈴木榮一氏の重任と決定したが突如某議員から村會議員同村消防組頭叶多清氏の身上に關する緊急動議を提出したからと叶多議員の退場を求め議場は俄然極度の緊張を示すに至つた、即ち叶多議員退場するや氏を除く十七名は提出された緊急動議叫多村議は自力更生の申合を破り去十八日盛岡騎兵第三十二聯隊幹部候補生として入隊した長男芳衛(三)君の入隊に際し連夜に亘り盛大な送別の宴を催し殊に出發の當日は自宅より平澤まで約一里の間を蛇行長蛇の行列を練りその先頭には音楽隊を以つて氣

### 辭職の必要なし

#### 村會の勧告を一蹴

叶多組頭排斥の裡面に 野心家の策動あるか

(別項)叶多好間組頭の辭職勧告問題は昨日の村會に於て兩派一致決議村會の名を以て叶多氏に對し即刻辭職すべしとの勧告を發したが叶多組頭は此の勧告を一蹴辭職の必要なしとして依然勧告に服する模様もなく問題は意外の方面に進展するやも計り難い形勢に立ち至つた叶多組頭排斥の

### 常識講座

サン・ルームと云ふのは日光浴の出来る様に椅子張りしたヴェランダ(廊下)のこと、張りは太陽、ルームは場所又は空地或は空とか部屋を指しても其う云

### 日曜不休

平局の爲替貯金 郵便局では来る二月三日は日曜日で爲替貯金等の現金取扱ひを行はざる事となつてゐるが當日は丁度舊曆十二月三十日に當るので公衆の爲め平常通り午後四時まで右の取扱ひをなす

### 衛生區長決定

平町材木町、紺屋町兩町の衛生區長は缺員中であつたが今二十五日材木町は島辰次郎、紺屋町は瑞幸吉の兩氏に決定した

### 大阪濡米を

石城郡四倉町で 四倉町役場では撥ねて下拂げられた

### 大工町の踏切脇に

#### 六十ワツツの電燈

鐵道で公衆の往來に便すべく 常磐線ホームも改造する

平澤に於ける常磐線ホームは舊客車に合して出来たもので列車台の下位にある爲め旅客の乗降に不便と危険があり之れを警越線ホームと同じ高さに改造されることは以前からの懸案になつてゐるが愈々十年度に於て着工されるものゝ設する事になつたと

### 贓物故買常習の

#### 悪古物屋にお灸

古物商免許の取消し 平署断然たる處置

内郷村大字高坂居住古物商伊藤勇治(三)は去る八月十月以来贓物故買の常習その他の古物商取締違反で数回に亘り懲役罰金等の刑に處せられて来たが依然として違反行為を續け殊に昨年未平町大町居住前科二犯大家寅次郎が窃取した銅線三十餘貫を情を知りながら

### 安價供給

平町字 平町字 平町字

### 漸く活況

魚肥(鱒粕) 二千俵の輸入 一俵四圓四十錢

軍馬検査の日割決定 第二師團の軍馬検査は平署管下に於ては次の日割で執行することに決定した、向ほ植田署管下は來月十一、三兩日である

### 草野村で

#### 隔離舎決定

草野村では隔離病舎新築の計畫を進めてゐたが此の程村會に於いて總工費三千五百圓を投じ大字六十枚地内に建設する事に決定直ちに着工の豫定である

### 平署の歳末警戒

#### 珍らしく平穩な商街

萬引、スリに備えて 私服を増員配置

平澤に於ける常磐線ホームは舊客車に合して出来たもので列車台の下位にある爲め旅客の乗降に不便と危険があり之れを警越線ホームと同じ高さに改造されることは以前からの懸案になつてゐるが愈々十年度に於て着工されるものゝ設する事になつたと

### 星後援會の役員

石城地方の同志によつて成る 製菓王屋一氏の後援會では去る二十三日午後七時半から平町九トモホールに於て開催された同會は役員のみを會同で會長山野邊東次郎氏及び常任幹事駒木根忠敬、星敏夫、水野隆介氏その他出席し昭和十年度の事業計畫を協議の後星一氏が近く展覧の爲め歸郷するを好機として歓迎會を催し尙ほ講演會を開催する申合せを終つて新年宴會に移り一同歡を盡して同九時過ぎ散會した

### 煉炭火鉢を町内

#### の三ヶ校へ寄附

平町字田町三九酒井伴城商店では目下季節物の改良煉炭火鉢販賣を宣傳中であるが從來の同火鉢に比して相當の特長を有する同火鉢三個價十圓五十錢及び煉炭三箱價一圓八十錢を町内三小學校に寄附した

### 草野村で

草野村では隔離病舎新築の計畫を進めてゐたが此の程村會に於いて總工費三千五百圓を投じ大字六十枚地内に建設する事に決定直ちに着工の豫定である

### 私服を増員配置

平澤に於ける常磐線ホームは舊客車に合して出来たもので列車台の下位にある爲め旅客の乗降に不便と危険があり之れを警越線ホームと同じ高さに改造されることは以前からの懸案になつてゐるが愈々十年度に於て着工されるものゝ設する事になつたと

### 胡鼠泥検査

二月六日四倉、七日、八日 平町 九日小川村、十日湯本町、十一日泉村、以上

平澤に於ける常磐線ホームは舊客車に合して出来たもので列車台の下位にある爲め旅客の乗降に不便と危険があり之れを警越線ホームと同じ高さに改造されることは以前からの懸案になつてゐるが愈々十年度に於て着工されるものゝ設する事になつたと

# 唐茶の漬

菜は斯くして漬ける(二)

縣農務同窓會  
一方割らぬものは頭は十字に應丁を入れ、漬ける際、其所へ鹽を撒り込むのである。前記の二つの割りには、頭の堅いとこに多くその餘分の鹽を、葉先の方に撒り込むやうにするのである。下葉は樽の一番下に半分ほどを敷き二つの割りものは、切り口を上に向けて平に漬けるのである。又十字に切れるものも切つた方を上向きに平に漬ける。その時各部平になるやう、外葉を適宜に挟む、最上部には外葉のよいもの十枚ばかりに茶葉をすする、重石の重さは茶の性質と漬け込む分量によつて異なる、結球白茶一斗樽一本には、漬け初め五十六貫四斗樽一本に對しては、十二貫から十三貫目、非常によく結球したるものは、十五貫目内外を要する、而して漬け汁が押蓋の上へ上れば口直しをして、重石を半分位にするのである、尚ほつけ上つたならば、貯蔵用のものはつけ直しを行ふ、その時二樽のものは一と樽につけ込まれる。

二つの割りものは、一寸内外に切つて鹽などに入れて茶の重みにて浸み出る汁を濾して手で搾り取る、此の時は決して手で搾つてはならぬ、手で強く搾ると味が悪くなる、搾り終つたならば味付汁につけるのである。

味つけ茶漬の漬け汁は濃厚な調味液を作つてかけるのである、朝鮮や支那のりやん

サイつけなどは味つけ茶漬である、これは非 胡椒、ニンニク等を入れ魚、エビ等の類を漬け込むのである、我が國でも北海道や青森邊では鹽ぎニシンを入れて漬ける、魚を入れると臭いやうな感じをする、味づけ茶漬は生臭くなく、味づけ茶漬は寒い地方獨特の漬物で九州方面には餘り適さない。

## 冬の中折帽子とネクタイ

- ソフト ¥2,00
- フー ¥5,50
- セラフイック ¥6,00

正確な体温計  
計量器指定販賣  
山野邊藥局

### 大森醫院

内科、小兒科  
醫學士 大森 勇  
平町南町 電話二五八番

### 多田井質店

債券 公債 兩替 金融  
平町大工町 電話五九一番

### 河田梅吉

警城代理店  
河田鐵工場  
仙臺支店

### 木村寅次郎

婦人科 長木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立蓄彌一  
平町新川町九一  
入院隨意 病室完備  
木村病院 電話一六四番

### 水野藥局

鼻の諸病に快鼻湯 有効保證  
製劑販賣元 水野藥局  
平町五丁目 電話六九九番

### たる各種優秀藥

カクレー (三十三日分)  
スピロイン (定價 四圓)  
平町五丁目 角

### 向陽屋

食品店  
平町五丁目

### 新設、電話二二二番

上原家政婦會  
平町紺屋町一

### 水野石炭店

石炭、豆炭、コークス  
平町郵便局通り  
電話二九九番

### 天然加里肥

安價で効果的な 最も適應する作物!  
製造販賣 金成國雅  
平町大町 電話六八八番

### 藤沼醫院

平町紺屋町  
電話五〇七番  
新規格車手貨  
平町大町若松醫院隣

### 帝國海上火災保險株式會社

代理店 關内正一  
平町二丁目 電話一六番  
事務取扱者 阿部助次郎